

本協議会の概要

柱① (住民避難)	熊野市のホットラインを構築し、概ねの機関が整備。新宮市が防災月間で水害体験模型を展示等、出前講座・防災教育を概ねの機関で実施。今後は流域タイムライン構成機関の拡大を図る。
柱② (情報伝達体制)	北山村や和歌山県をはじめ、全機関が水位観測施設を整備。また、全機関がWEBサイトやSNS等で効果的な情報提供を実施。今後はテレビ会議等をはじめ、各管理者の情報を効果的に配信できる仕組みの必要性を確認の上、更なる情報伝達体制の強化を図る。
柱③ (水防活動)	紀宝町の防災拠点整備や水防演習の開催等により、水防活動に関する取組を概ねの機関で実施。今後は水防協力団体の募集・指定の促進、災害拠点病院等への水害リスク情報の共有の強化を図る。
柱④ (ハード整備)	新宮市の雨水排水ポンプ増強、田辺市、和歌山県、三重県、紀南河川の河道掘削等、ハード対策を概ねの機関が実施。今後は利水ダム事前放流の効率的な運用や流域での雨水貯留機能の向上を検討する。
柱⑤ (復旧・復興)	田辺市、紀宝町等の排水施設点検や維持管理の継続等により、排水活動・復旧・復興に関する取組の半数を達成。今後は排水訓練を実施すると共に、企業BCPの作成支援を進める。

【凡例】

- 基礎** これまでに実施してきた取組の継続・更新
- 応用** 具体的な取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組
- 発展** 具体的な取組内容は未定であり、検討・調整を経て、進めていく取組

目標達成に向けた5本柱の取組

※達成度の算定方法：
 = (取組対象の機関の内、取組を実施した・実施中の機関数) / (取組対象の機関数)

柱① 水害リスク情報等の更なる充実と自主防災意識の向上による安全な住民避難等の実践【達成度：80%】

進捗状況 (柱ごとの事例)

約25%アップ

熊野市
産田川、板屋川のホットラインを構築

新宮市
防災月間の模型等の展示

目標

- 洪水時の連携やタイムライン等の実効性向上
- 防災意識の認識レベルから行動・実践レベルへの移行
- 地域特性を踏まえた適切な避難行動の実践
- 感染症等を踏まえた避難対応

⇒安全かつ主体的な住民避難の実現

主な取組項目 (抜粋)

洪水時の連携の検証と改善 (89%) / タイムラインの検証と改善及び各機関のタイムラインの共有 (75%) 出前講座や水災害教育等の推進 (80%) / 要配慮者利用施設での避難確保計画作成促進や避難の実効性確保 (100%) / 水害リスク情報の充実 (水害リスク空白域の解消、内外水一体・多段階型浸水想定等)・周知 (100%) / コミュニティタイムラインやマイ・タイムラインの普及・促進 (80%) / 感染症防止対策の考慮 (81%) / SNS等を活用したリスクコミュニケーションの実施 (90%) など

柱② 情報の一元化や情報発信の見える化等による情報伝達体制の高度化・効率化【達成度：63%】

進捗状況 (柱ごとの事例)

約40%アップ

北山村他、全機関
SNS、メール等により防災情報の発信・通知

目標

- 施設整備の充実、情報伝達体制の高度化・効率化
- 受け手に分かりやすい情報の発信

⇒リスク情報への関心や認知度の向上

主な取組項目 (抜粋)

ICT等を活用した効果的な情報提供の継続・推進 (100%) / 各管理者の情報を効果的に配信できる仕組みの必要性の確認と構築 (54%) / 雨量・水位・ダム放流情報等の一元化の検討 (75%) / ダムからの放流の影響や放流見込み等の情報提供の検討 (80%) / メディアとの連携による河川情報提供の検討及び実践 (50%) / 鉄道事業者との連携強化 (25%) / 洪水予測の周知・活用と予測技術の向上 (100%) / リスク情報や治水事業効果の見える化 (30%) など

柱③ 地域との連携強化による迅速かつ効果的な水防活動の実践【達成度：81%】

進捗状況 (柱ごとの事例)

約30%アップ

紀宝町
防災拠点施設を整備済み

目標

- 関係機関・地域との連携・協働による水防活動の強化
- 重要拠点における自衛水防の更なる推進

⇒地域の水防技術や自主防災力の向上

主な取組項目 (抜粋)

消防団等への連絡体制の定期的な確認と伝達訓練の実施 (100%) / 必要な水防資機材の配備 (100%) / 関係機関と連携した実働水防演習の実施・継続 (80%) / 大規模水災害発生時の庁舎等の機能維持及び重要資機材への影響の確認と有効な対策の実施 (100%) など

柱④ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策の推進【達成度：67%】

進捗状況 (柱ごとの事例)

100%維持

新宮市
雨水排水ポンプの増強

田辺市・県・国
河道掘削・護岸整備等を継続

目標

- 気候変動による影響を踏まえた段階的な治水安全度の向上と浸水被害軽減
- 流域全体で協働した治水対策の推進
- ハード対策による水防活動の支援

⇒関係機関の協働による浸水被害の防止・軽減

主な取組項目 (抜粋)

河道掘削・低水護岸整備・堤防強化・砂防施設等整備の継続 (100%) / 市田川流域大規模浸水対策など内水対策の実施 (100%) / 利水ダム事前放流や流域での雨水貯留機能の向上 (80%) / 水防拠点・河川防災ステーションの整備 (0%) / 水防資機材の搬入路整備 (38%) / 粘り強い堤防整備 (50%) など

柱⑤ 生活再建、社会経済活動を一刻も早く回復させるための排水活動・復旧・復興の実現【達成度：81%】

進捗状況 (柱ごとの事例)

100%維持

田辺市・紀宝町等
排水施設の点検・維持管理・訓練等を継続

目標

- 排水施設の機能維持の強化と確実な運用の実践
- 地域全体での連携した復旧・復興の実現
- 被災者支援の実施促進

⇒被災後の生活再建、社会経済活動への早期回復

主な取組項目 (抜粋)

地域防災計画の被災者支援の検証 (100%)、排水施設の耐水化、点検、維持管理の継続 (100%) / 排水訓練の継続・検証・改善 (60%) / 被災者支援の検証 (100%) / 災害復旧のための自衛隊・水防団・報道機関との連携強化 (100%) / 水害対応版BCP作成、企業に対する作成支援 (38%) など